

新番号単価適用の時期について

資料 2

1 新番号単価適用の時期（認可申請）

H 2 1 年度		H 2 2 年度	
2月	12月	1月	12月
負担金の額	18,105百万円	負担金の額	18,878百万円
補てん対象額	18,040百万円	補てん対象額	18,814百万円
支援事務費	65百万円	支援事務費	64百万円
【番号単価】 8 円		【新番号単価】 8 円	

最終算定月

徴収額が負担金の額を超える月
(算定等規則第27条)

【最終算定月】平成21年12月予定

2 新番号単価適用等の実績

H 2 0 年度		H 2 1 年度		H 2 2 年度	
1月	1月	2月	?月	?月	?月
負担金の額	13,628百万円	負担金の額	18,105百万円	負担金の額	18,878百万円
(補てん対象額)	(13,561百万円)	(補てん対象額)	(18,040百万円)	(補てん対象額)	(18,814百万円)
支援事務費	67百万円)	支援事務費	65百万円)	支援事務費	64百万円)
番号単価 6円		番号単価 8円		番号単価 8円	

徴収額 14,616百万円
 負担金の額 13,628百万円
 差引き額 988百万円



徴収額 []百万円
 負担金の額 18,105百万円
 前年度繰越額 988百万円
 差引き額 []百万円



H21年度の
 負担金に繰越

(注) 徴収額はN T T東西の自己負担額を含む

3 平成21年度における最終算定月の見込み

H 2 1 年度		H 2 2 年度	
2月	12月	1月	12月
負担金の額	18,105百万円		
(番号単価 8 円)			
徴収見込額	16,723百万円		
前年度繰越額	988百万円		
不足額	393百万円		
		新番号単価 8 円適用	

(注) 徴収見込額はN T T東西の自己負担額を含む

最終算定月12月ではH21年度の負担金の額の全てを徴収しきれずにH22年1月までの徴収が必要 **最終算定月が1月となる**

H21年度の最終算定月が1月にずれ込むため、新番号単価 8 円の適用はH22年2月からとなる見込み

【参考】番号数の伸び率と切捨て率の状況

	年間伸び率	番号単価	切捨て率
H20	1.42%	6.2円	3.33%
H21	1.99%(見込み)	8.1円	1.25%